



先生、何といるにや〜?



豊富といえる。
 今回は一泊のみの街歩き
 であつたが、どうやら
 下関は、他にもきつ
 とアナコンダ（大蛇）
 級の獲物がどこかに隠
 れているのではないだろ
 うか。今、私は頭の中
 で、次回
 下関の獲物捕獲のため
 の秘策
 を考えているところだ。

かねばならない。
 猫の目になるには
 猫と仲良くせねばな
 らないが、幸運なこ
 とに下関には猫と出
 会うことが多い。
 子供のころに昆虫
 採集をするべく、虫
 取り網を持って遊ん
 だ時代のことを思い
 出して欲しい。私は



庶民文化史研究家の血が騒ぐ

「街角遺産」あれこれ

15年ぶりの下関、一番変わったって驚いたのは、かつての大きな三角屋根の駅舎が、駅正面の妙なモスク風の建物の立つ駅前であった。さて下関の街は一言で言うならば、獲物の潜むジャング

ル地帯ということになる。ジャングルにはカメレオンのように周囲の色と同化している動物もいれば、擬態という他の物と似た形となっている虫などもある。何気なく歩いていると気付くことのない興味深い対象



が、下関には実に多いのだ。

それは木造の板にへばりつくセミのようなホーロー看板だったり、まさにカメムシのような電柱のアルミプレートだったりする。したがって自分の目をハンターの目として歩いてみるとよいだろう。カメラがライフル銃ということになる。獲物は空に地面にあらゆる方向に潜んでいるので、ある時はカラスの目、ある時は猫の目となって全方位に神経を集中して歩

ばりつくセミのようなホーロー看板だったり、まさにカメムシのような電柱のアルミプレートだったりする。したがって自分の目をハンターの目として歩いてみるとよいだろう。カメラがライフル銃ということになる。獲物は空に地面にあらゆる方向に潜んでいるので、ある時はカラスの目、ある時は猫の目となって全方位に神経を集中して歩

ばりつくセミのようなホーロー看板だったり、まさにカメムシのような電柱のアルミプレートだったりする。したがって自分の目をハンターの目として歩いてみるとよいだろう。カメラがライフル銃ということになる。獲物は空に地面にあらゆる方向に潜んでいるので、ある時はカラスの目、ある時は猫の目となって全方位に神経を集中して歩



ばりつくセミのようなホーロー看板だったり、まさにカメムシのような電柱のアルミプレートだったりする。したがって自分の目をハンターの目として歩いてみるとよいだろう。カメラがライフル銃ということになる。獲物は空に地面にあらゆる方向に潜んでいるので、ある時はカラスの目、ある時は猫の目となって全方位に神経を集中して歩

